学校番号	1101

令和２年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ⅲa	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	最新　数学Ⅲ（数研出版）						
副教材等	Study-Up ノート数学Ⅲ（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して，自ら考え，周りの人と協働で考える活動を行います。
　ノートをしっかり書くことも大切ですが，問題を解決するにあたって，
　①問題の意味を理解する。
　②解決の方法を予想したり，類題があったか思い出したりしてみる。
　③問題を解決する。
　④解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える。
　ということを意識して活動し，自分の考えを発表したり，友達を一緒に考えたりします。
・ノート，教科書，問題集を用意してください。
・課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

極限，微分法及び積分法についての理解を深め，知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに，それらを積極的に活用する態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	極限,微分法及び積分法における考え方や体系に関心をもつとともに,数学のよさを認識し,それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	極限,微分法及び積分法において,事象を数学的に考察し表現したり,思考の過程を振り返り多面的･発展的に考えたりすることなどを通して,数学的な見方や考え方を身に付けている。	極限，微分法及び積分法において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	極限，微分法及び積分法における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。
評価方法	確認テスト 単元テスト 記述の点検 （ノート，ワークシート，問題集等） 観察等	単元テスト 定期テスト 記述の点検 （ノート，ワークシート，問題集等） 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト 記述の点検 （ノート，ワークシート，問題集等） 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	極限	数列の極限	○		○		a:身近な数列に対する興味 b:極限の求め方の考察 c:極限の計算が出来る d:用語・記号・公式の理解	確認テスト 単元テスト 定期テスト 記述の点検 観察等
		関数の極限	○		○		a:身近な関数に対する興味 b:極限の求め方の考察 c:極限の計算が出来る d:用語・記号・公式の理解	
	微分法	導関数	○		○	○	a:微分の定義に対する興味 b:微分可能性を図示して考察 c:関数の微分が出来る d:導関数の公式の理解	
	微分法の応用	接線の方程式		○	○	○	a:関数と接線に対する興味 b:接線の図示が出来る c:接線を求めることが出来る d:接線の公式の理解	
		関数の増減とグラフ	○	○	○		a:関数の増減に対する興味 b:関数をグラフで表現出来る c:極値・変曲点を求める d:関数の増減に対する理解	
後期	積分法とその応用	不定積分		○	○	○	a:積分の定義に対する興味 b:積分の公式の考察が出来る c:関数の不定積分を求める d:積分の公式に対する理解	確認テスト 単元テスト 定期テスト 記述の点検 観察等
		定積分		○	○	○	a:積分の定義に対する興味 b:積分の公式の考察が出来る c:関数の定積分を求める d:積分の公式に対する理解	
		積分法の応用	○		○	○	a:面積、体積への興味 b:曲線を図示して考える c:面積、体積を求める d:積分の公式に対する理解	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。